



department of
Civil and Environmental Engineering
GUNMA UNIVERSITY

学科ニュース

2010年11月17日

行事・その他記事

桐生市危機管理防災セミナーを開催しました！

広域首都圏防災研究センター・桐生市・群馬県などが共同で開催

平成22年11月17日、広域首都圏防災研究センターが、桐生市や群馬県と共同で、桐生市危機管理防災セミナー『水害の現場～被災地の市長が語る』を開催しました。これは、片田教授、清水教授が参加して、桐生地区の防災を考えることを目的とした『桐生地区水害に強いまちづくり研究会』の活動の一環として開催したものです。講師として、平成16年に大きな水害を経験された兵庫県豊岡市の中貝市長さん、新潟県三条市の國定市長さんをお招きし、被災から復興までの体験談をお話いただくとともに、被災していない今から備えておくべきことについてご講演いただきました。

当日は、桐生市民、桐生市職員だけでなく、県内自治体防災担当者など、900名を超える方々にご参加いただきました。防災をテーマに、平日の昼間に開催したセミナーとしては、異例の参加者数となりました。広域首都圏防災研究センターでは、今後も桐生地区の防災力向上を目指し、様々な活動を継続的に実施していく予定です。



兵庫県豊岡市長 中貝宗治氏



新潟県三条市長 國定勇人氏

近年、全国で集中豪雨や局地的かつ突発的な大雨により事故や災害が相次いでいます。最近では、奄美大島で 130mm を超える未曾有の豪雨が 2 時間にわたって降り続き、島内各地で土砂災害や浸水による甚大な被害を被りました。今年も梅雨の時期に、西日本を中心とした各地で、記録的な集中豪雨による土砂災害や洪水災害が発生し、被災地に大きなつめあとを残したことは記憶に新しいところです。

ここ桐生市においては、幸いにして、昭和 22 年のカスリーン台風以降、大きな水害には見舞われていません。しかし、今年「桐生地区水害に強いまちづくり研究会」が実施したアンケート調査では、水害への意識の低下や水害時の適切な行動がとれるか否かなど、様々な課題が明らかとなりました。

このことを踏まえ、ここ桐生市において、“水害による犠牲者ゼロ”を目指してどのようなことに取り組んでいかなければならないのかを考えていただくことを目的として、実際の水害の現場において最前線での対応や陣頭指揮にあられた方をお招きして、水害が発生したときにまちはどうになるのか、また、水害の教訓を生かして日頃からどのように備えていくべきなのかについてお話いただく「危機管理防災セミナー」を開催します。



日時：平成 22 年 11 月 17 日 (水)
AM 9:20 ~ AM 11:45
場所：桐生市市民文化会館シルクホール



水害の現場と被災地の市長が語る

桐生市危機管理防災セミナー Risk Management Seminar in Kiryu

プログラム

- 9:00 開場
- 9:20 開会
開会挨拶
亀山豊文 桐生市長
- 9:25 趣旨説明
片田敏孝 群馬大学広域首都圏防災研究センター長
- 9:30 講演「私たちはどのようにして
台風災害と闘ったか(仮)」

中貝宗治 氏
兵庫県豊岡市長
(休憩: 10分)
- 10:40 講演「7・13新潟豪雨災害から
“災害に強いまちづくり”を目指して(仮)」

國定勇人 氏
新潟県三条市長
- 11:40 閉会挨拶
八木計二 桐生市副市長
桐生地区水害に強いまちづくり研究会座長
- 11:45 閉会

主催：桐生市・桐生地区水害に強いまちづくり研究会・群馬大学広域首都圏防災研究センター・群馬県・国土交通省渡良瀬川河川事務所

お問い合わせ 桐生地区水害に強いまちづくり研究会事務局

桐生市総務部総務課
TEL 0277-46-1111 (代表) / FAX 0277-43-1001

群馬大学広域首都圏防災研究センター 災害社会工学研究室
TEL 0277-30-1653 / FAX 0277-30-1601